

6回生 必修科目「体育」授業のシラバス

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2単位
科目の目標	○心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。				
教科書	なし	副教材	なし		

1 学習の目標

- (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、知識を深めたり技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
- (2) 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。
- (3) 公正、協力、責任、参画などにたいする意欲を高める。
- (4) 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 基本的に必要ありません。
- (2) 授業について
 - 準備等については、体育常任委員が事前に連絡することになります。
- (3) 復習について
 - 基本的に必要ありません。

<学習アドバイス> ○自分で選んだ種目に責任を持って前向きに取り組もう。 ○リーダーのアドバイスや指示にきちんとしたがおう。 ○楽しみながら、技術を向上させていこう。
--

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	○運動に関心を持ち、楽しさを味わえるよう、積極的に授業に取り組もうとしていかに評価します。 ○周囲と協力しているか、自分の役割を理解しているかを評価します。
②思考・判断	○チームの課題や自分の能力に応じた課題を設定し、練習の仕方やゲームの仕方を工夫しているかを評価します。 ○授業のねらいを理解して、取り組もうとしているかを評価します。
③運動の技能	○運動の技能を評価します。
④知識・理解	○各種目の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判方法及び競技会企画や運営の仕方を評価します。 ○ルール等を理解して運動に取り組んでいるかを評価します。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料												
	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議			
①関心・意欲・態度				◎	◎			○					
②思考・判断				◎	◎								
③運動の技能				◎									
④知識・理解				○			○	○	○				

<担当者からのメッセージ> ○自分たちで種目を構成し、責任を持って運営していこう。 ○生涯スポーツになる種目を持つようしよう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換・ 調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体力をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力	反省等
4	○体ほぐしの運動 言語 ○体力を高める運動(4) 言語	○ <u>体ほぐしの運動</u> ○ <u>体力を高める運動</u> ○ <u>集団行動</u>	①体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動を行おうとしている。 ②自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫している。 ③意欲的に取り組んでいる。互いに協力して運動を行おうとしている。		【体づくり運動】 DEGHJK	
5	○新体カテスト(3) 言語 ○陸上競技(4) 言語	○長座体前屈・握力・背筋力・握力・反復横とび・上体起こし・垂直跳び・50m・ハンドボール投げ・立ち幅跳び ○ <u>陸上競技</u> 100m 1500m(男子) 800m(女子)	①関心を持ち、進んで練習や競技に取り組もうとしている。 ②自分の能力に応じた課題を設定している。 ③陸上競技の特性に応じた技能を身につけている。各種の記録。		DGHJK 【陸上】 DEGHJK	
6	○選択1(19) 言語 ○フォークダンス(1) 言語	○ <u>領域選択</u> 器械運動・陸上・球技・ダンスから、1種目を選択し、グループ学習を行います	領域選択に関する共通の観点 ①各種目の特性に関心を持ち、楽しさを味わえるよう、チームにおける自分の役割を理解して取り組もうとしている。 ①公正な態度や安全に留意して練習やゲームをしようとしている。 ②チームの課題や自分の能力に応じた課題を設定し、練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。 ③チームの課題や自分の能力に応じて、各種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができていく。	○選択した種目の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判方法及び競技会企画や運営の仕方について、レポート形式で評価します	【球技】 CDEGHJK 【器械運動】 DGHJK 【武道】 DEGHJKL 【ダンス】 DEFGHIJKL	
7						
8						
9						
10	○選択2(20) 言語	○ <u>領域選択</u> 器械運動・陸上・球技・ダンスから、1種目を選択し、グループ学習を行います	①フォークダンス 関心を持ち、進んで練習やダンスに取り組もうとしている。			
11						
12	○体育に関する知識(6) ※天候等を考慮しながら、年間を通じて実施する。	○豊かなスポーツライフの設計の仕方	④豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解し、知識を身に付けている。	○選択した種目の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判方法及び競技会企画や運営の仕方について、レポート形式で評価します	【体育理論】 ABCDEFJM	
1						

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【思考・判断】→②、【運動の技能】→③、【知識・理解】→④として表現しています。